



つばき便り

No. 48-2



日本女子テニス連盟長崎県支部会報

事務局発行(H.18.12.12)

<井上早苗杯 GOGO テニスフェスティバル 謳歌>

”心にゆとり、さわやかマナー” スローガンの中から

馬場昭代(三菱電機)・原 厚子(トレディアテニスクラブ)

2006年6月6日、7日、両日共に晴れ。第9回大会に参加してきました。ところは大阪府 万博テニスガーデンです。EXP'70の会場跡地に設けられたテニスガーデンは室内4面、屋外32面(内アンツーカー16面、室内4面を使用)の広大なテニスガーデンでした。参加資格は55歳以上の女子連会員。長崎より西・金子・嘉村・樋口・南村・原・馬場の7名が参加しました(敬称略)。「はつらつ」とした他県の選手と同様、長崎勢も前日から練習コートを確認して頂き(南村さんの友人の世話で)学生時代のような特訓をしてしまいました。

7名のその夜の食事は、ホテル近くの22F居酒屋へ。氣勢は上る、上る。そして、本番2日間予選リーグ、決勝A、Bトーナメントに、善戦を重ねながらも他県の技術の前に「ヤラレマシタ!」となりました。又、公式戦が終っても開放された室内コートは満杯です。この情熱、友情に誘われ、送迎バス最終まで熱い時を過ごしました。

パーティーも華やかで、全員賞品ありの抽選会はまるで10代の歓声です。

この大会の会場は毎年変わり、来年は那須高原(5月9、10日)にて開催されます。今年の最高齢者ペアは、75歳以上で出場の「86歳、84歳」のなんとさわやかで美しいペアだったでしょう! 長崎県支部の55歳以上の皆さん、来年一緒にいきましょう! お誘いします。

◆◆ チーム対抗戦 ◆◆

Aクラス

優勝



チーム名:スペシャル

色々なバリエーションで組めて楽しかったです。

準優勝



チーム名:キャサリン'S

まさか。。。
決勝まで行くとは思いませんでした。
ありがとうございました
まるで~ 万馬券でした~

Bクラス

優勝



チーム名: テニスの王女さま

初戦のドローをひいたとき、負けたと思いました。しかし、勝てて嬉しかったです。団体戦なので自分たちが負けても仲間が勝ってくれて、勝ち進むことが出来ました。みんなのおかげで優勝できてよかったです。お世話を下さったみなさん、チームのみなさんありがとうございました。

準優勝



チーム名: スッピンで勝負！！

初めての決勝進出で大変うれしいです。たくさん試合もできて楽しい思い出ができました。チーム名の如く、スッピンでは勝負できませんでしたが、来年はエステに通いスッピンで決勝進出をねらいたいです！！

Cクラス

優勝



チーム名: モー娘(ムス)。

初めての参加でしたので頑張りました。楽しませてもらいました、ありがとうございました。

準優勝



チーム名: トップスピン

初参加のトップスピンです。運よく準優勝になりました。これからもよろしくお願いします。



会報 (48-2)号を発行します

事務局 山口多恵子

本年度の会報は変則の発行となりました。先月の(48-1)号に続けて(48-2)号をお届けします。今回のトップ記事は<GOGO大会>の報告です。7月中旬に頂いていた原稿ですが掲載が遅くなり、筆者のお二人には大変申し訳なくしております。来年度のこの大会の案内は1月中には届きます。どうぞ来年こそは奮ってご参加下さい。尚、この会報も前号と同じく、各クラブへ1部のお届けとさせていただきます。(但し、懇談会にご出席のみなさんには全員へ配布致します。)この号がぜひ欲しいという会員の方がいらっしゃいましたらご面倒ですが、事務局へお申し込み下さい。(TEL/FAX: 095-821-0800)但し、お申し込みは12月22日(金)までにお願いします。※今回は会報の号外をお届けします。ソニー生命カップ全国大会出場選手からの特別寄稿です。



ソニー生命カップ全国レディース大会 デキゴトロジー



皆川和美(つつじヶ丘テニスクラブ)

初めて全国大会に出場しました。予選ではこれまで3位決定戦を4回やって、やっと代表権ゲットのyumeがかないました。今まで日陰にいたのが日のあたる森はまぶしかったです。

その森は東京の外れにあり、入り口の右側には10軒位スポーツメーカーの売場、売り場。皆の衆、この”おいでおいで横町”の誘惑にまず勝てるかな？ 昭和の森のコートは来年に張り替えがあるそうです。キャプテン会議は1人でよく、残りの5人は1時間でも練習ができたのですが・・・来年の方は前もってコートでの練習やったらいいですよ。その場でもコート借りられます。コートはハードで後ろは狭く、トップスピンド打ったボールの金網越えがよくあった。

試合は、No.3が終わって、No.2、No.1が同時に入り、プレーヤーは隣の味方のスコア表がよく見えるので、プレー中に気になったと思います。もし、No.3とNo.2が勝った時、No.1は軽くプレーして疲れをセーブすることも。次の試合で1-1になった時に、勝利はNo.1にかかります。まあ2-0で決まれば応援がパーッといなくなりのおんびりだけど。決勝戦まで1回戦からだ、3タイブレイクセットマッチを6回もせにゃならん。かなりハード。センターコートが並んで2つあり、初日は応援の多い県がプレーしていました。応援の人をよそにコートが空になることがあり、一瞬不思議に思いました。2対戦が終わり、対戦成績が1-1になって、両チームともトイレタイムをとっていたのです。メディカルタイムをとっていたチームもありましたが、タイム後はペアでスコートの下に長ズボンをはいて、元気にプレーを再開し勝ちました。それにしても、優勝した愛知県のメンバー40代3人、50代3人はすご〜い。

<以下は決勝戦まで見ていた他県代表プレーヤーのブログ>

・・・愛知県が今年は優勝、卒業おめでとうございます。私の分析では愛知県の勝因はNo.3が日本一だったことでしょう。何歳だった？ 58歳？ 59歳？。その年ですんげえストローク打つ。つなぎが日本一でした。あのお年で雁行陣。すべてフォアに回り込むのよ！ 定位置はシングルスセンター！ どんなに振られてもその定位置に戻るのよ！ 私にはムリ（笑）うちのNo.3は30代ペアだったんだけど、最後は足つり対決！。ダブルスって4人でしょ？ いちばん走ってフォア打ちまくってた58、59のおばあちゃんが（すいません）1人、元気で、後の3人で足つってんの〜（笑）一番最後のポイントが30球ぐらい続いたんだけど、30代はアキレス腱のばしてんの（爆笑）もうみんなにみせてあげた〜い〜。負けた後に握手も出来なくて、コートに倒れたうちのNo.3。ちょっと感動して私泣いた・・・

長崎県は最後の決勝戦まで見られませんでした。残念！ 私など遠方からラケットを杖代わりに来たのにみんなすごい体育会系でした。あと反省したのですが、マイナス要因をもってコートに入らない。競った試合に出てくる。例えば風や太陽などこれは皆に平等の要員ですが、長い試合になるのに昼食抜き、どこかに故障がある。初めてのコート。帰りの飛行機の時間(今年はドローがよく、2回戦から)など気持ちがダウンする要員をなるべく作らない。

<次もまた参考になるブログ>

・・・ベステージ（50歳以上のプレーヤー）の特徴は、自分は動かず相手を走らせる。スピードよりもコース取り抜群。何事にも動揺しない。相手の得手不得手を掴むのが早い。相手の苦手なところを果敢に攻める。40代の人達を若いからおだてるのだが、コートの中では皆さん鬼か魔物ですよ〜。わたしなんぞは、ちょっとボールが浮くと打ちたくなるのですが、それを見越して打ち込むコースにセットされているのです。前に詰めて打ち込んだ〜と有頂天になっている私の上をポワーンと見事な中ロブが飛んでいく・・・あ〜れ〜とペアのカバーも間に合わない。後は思わぬところでオバン殺しのドロップショット・・・

☆ 他人のブログばかりを引用しましたが、次のコメントで返事しました。

私も初めて出場です。あれから三日もたつのに忘れられない大会でした。愛知県の試合見たかったですね。自分も50代選手でしたが、あそこまで登り詰めた愛知県選手には励まされました。感動です。やれるんですね。続けられるんですね。こんな過酷な試合はも〜と何度思ったことか。いくつまで出来るかも挑戦です。泣いて笑っていっぱい自信をありがとう。